

## 平成 29 年度廃棄物施策について

## 1 ごみ処理施策

(1) ごみ減量化・資源化及び適正排出についての普及啓発

- ① 広報誌「広報ひろさき」【継続】
- ② ラジオ広報【継続】
- ③ テレビ広報【継続】
- ④ ごみ減量化・資源化推進イベント【継続】
  - ・ごみ減量化・資源化推進キャンペーン【継続】
  - ・弘前市廃棄物減量等推進員委嘱状交付式【継続】
- ⑤ 出前講座【継続】
- ⑥ ごみの減量化・資源化意見交換会【継続】
- ⑦ 各種団体の会合等への出席【継続】

⑧ 啓発広報誌の作成・配布

従来の「広報ひろさき」による広報に加え、ごみについての情報に特化した「ごみ広報誌」を発行する。(名称未定)

新規

⑨ ごみ分別促進アプリの導入

「50音別分別ガイド」や「収集日カレンダー」等の機能を搭載した、スマートフォンアプリを導入し、市民に無料で提供する。

新規

(2) 廃棄物減量等推進員

現状の制度について、推進員へのアンケート等を実施し、推進員制度の見直しを検討する。また、推進員における活動の充実化を図るための活動マニュアルの作成に着手する。

拡充

(3) 古紙類(新聞、雑誌・雑がみ)の行政回収【継続】(4) 新聞・雑がみ類回収ステーション【継続】(5) オフィス町内会の推進【継続】(6) 再生資源回収運動

回収品目に「ペットボトル」を追加する。また、市内で先進的な取り組みを行っている団体の事例を他の団体へ紹介し、回収量の増加を図る。

拡充

拡充

(7) 使用済小型家電リサイクル

市内各所に設置している回収ボックスを、盗難（抜き取り）防止加工を施したボックスへリニューアルし、これまで情報漏えいの懸念から回収できなかった携帯電話等の回収を開始する。

また、環境省が提案する「小型家電リサイクル学習授業支援パッケージ」を活用した環境教育の実施を検討します。

拡充

(8) 衣類回収

回収場所を2か所増設し、更なる回収量増を図る。

(9) 3キリ運動の推進【継続】

(10) 全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会への参加【継続】

(11) 生ごみ堆肥化容器の斡旋補助【継続】

(12) 電動式生ごみ処理機の貸与【継続】

新規

(13) 多子世帯への水切り器具配布

世帯人数が多く生ごみの排出量が多い多子世帯を対象に、手軽に生ごみの減量に取り組むことができる水切り器具を配布する。

(14) 事業所訪問【継続】

(15) 事業系ごみ適正排出指導【継続】

(16) リサイクル可能な古紙類の受入制限【継続】

(17) 展開調査【継続】

拡充

(18) 一般廃棄物組成分析調査

家庭系可燃ごみ、事業系可燃ごみ、家庭系その他の紙に加え、「家庭系雑がみ」についての調査を新規で実施する。

(19) 家庭ごみの有料化の検討【継続】

(20) 高齢者や障がい者への収集支援策の検討【継続】

(21) 多量排出事業者における減量化計画制度の検討【継続】

新規

(22) 事業系ごみガイドブックの配布

新たに「事業系ごみガイドブック」を作成したことから、ごみの適正な排出を推進するため、各種団体に対して配布するほか、事業所訪問などにおいて活用します。

(23) 産業廃棄物混入防止策の検討【継続】

(24) エコストア・エコオフィス認定制度の活用【継続】

(25) 廃棄物処分手数料（最終処分場）の見直し検討

弘前市一般廃棄物最終処分場第2次第2区画の供用開始にあたり、中間処理施設における処分手数料との整合性や、施設整備に要した経費を考慮した手数料見直しを検討する。

新規

(26) 分別区分（雑がみ・その他の紙）の見直し検討

分別が複雑であるとの意見が多く寄せられている、「雑がみ」と「その他の紙」について、リサイクル推進の観点から、統一区分への見直しが可能か検討する。

新規

(27) リユース（再利用）の推進

使用しなくなった家具や衣類、家電製品などのうち有用なものについて、弘前地区環境整備事務組合と連携しながら、不用品売買や交換するためのイベントを実施します。

拡充

## 2 生活排水処理施策

(1) 合併浄化槽整備事業費補助金【継続】

(2) 住民に対する広報、啓発【継続】

(3) し尿処理制度見直しの検討

今後、し尿汲み取り量の減少が予想されることを踏まえ、他自治体の動向の把握や処理制度の現状分析を実施し、適正な処理体制を検討します。

拡充